

# 6つの施策の取組方針

## 施策 1

# 県土強靱化のための 道路ネットワークの強化

### 目指す姿

- ハード整備による事前防災を効率的かつ効果的に進め、災害等による経済活動への影響が最小限に抑えられています。

安心の誇り・挑戦ひろしまビジョン(P46)より

### 現状と課題

- 災害時の通行止めに伴う大幅な迂回や待機により、初動対応の遅れや、物流の取り止めなどによる生産性の低下など、県民生活や経済活動に大きな影響が発生しています。
- 広域的な災害発生時における救助活動や緊急輸送のための道路ネットワークの確保が求められています。

### 水害や土砂災害のリスクの高まり

全国1時間降水量50mm以上の年間発生回数



### 平成30年7月豪雨による被害

平成30年7月豪雨では、観測史上初となる記録的な豪雨に襲われ、県内全域で土砂災害や河川の氾濫が多数発生し、100名を超える尊い命が奪われました。道路においても幹線道路の多くが被災し、支援物資の輸送や企業の経済活動、県民の日常生活に著しい影響を及ぼしました。



### 法面对策のあり方検討

平成30年6月に発生した一般国道191号の道路法面崩壊や、平成30年7月豪雨を踏まえ、県下全域にわたる当面の法面对策及び中・長期的な法面对策について、有識者で構成した「今後の法面对策のあり方検討会」を設置し、とりまとめられた法面整備方針に基づき、対策が必要と判断された箇所について、落石等による災害から道路交通の安全を確保するための対策をソフト、ハード両面から計画的に行っています。



(写真提供)中国地方整備局

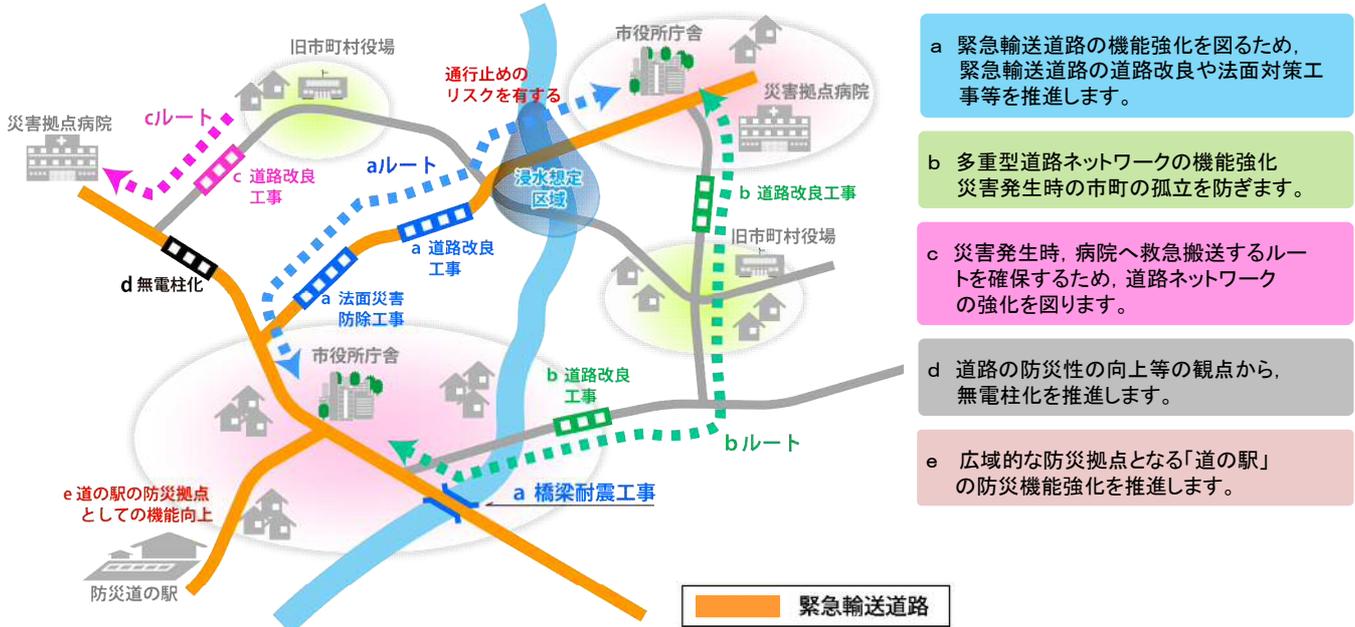
### 用語説明

緊急輸送道路…阪神・淡路大震災を教訓とし、地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として、各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で、役割に応じ、1次から3次までが設定されている。  
多重型道路ネットワーク…大規模災害等により道路が寸断された場合でも、社会・経済活動への影響を最小限にとどめるよう代替経路の確保を目的とした道路ネットワーク。

## 取組の方向

- 災害対応能力の向上に資する道路ネットワークの多重性・代替性の確保  
⇒ 発災時にも地域の孤立化を防ぎ、日常生活や社会経済活動への影響を最小限に抑える多重性・代替性を備えた道路ネットワークの形成を図ります。
- 緊急輸送道路における法面对策や橋梁耐震補強の推進  
⇒ ハード対策等による事前防災を効率的かつ効果的に進め、県土の強靱化を図ります。
- 災害直後の交通確保のための無電柱化の推進
- 高速道路等における暫定2車線区間の4車線化などによる交通機能の確保
- ◆ 効果を高める取り組み  
⇒ デジタル技術を活用した道路法面の変状把握に取り組みます。  
⇒ 道の駅の防災拠点としての機能向上に取り組みます。  
⇒ 国、NEXCO等と連携した災害時における交通マネジメント体制の強化に取り組みます。

### 災害に強い道路ネットワークの構築(整備イメージ)

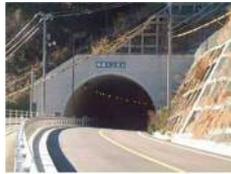


#### ● 法面对策の実施



法面災害防除工事例 (法枠工等)

#### ● 道路改良による防災対策



道路改良工事例 (バイパス整備)

#### ● 橋梁の耐震補強の実施



橋梁耐震工事例 (落橋防止)

#### ● 無電柱化の実施



対策前



対策後

## 指標

	現状 (R2)	目標 (R7)
緊急輸送道路の災害時通行止箇所	190箇所 (H27~R1)	160箇所 (R3~R7)
緊急輸送道路における防災対策実施済延長 (率)	454.5km (28%)	799.2km (49%)

災害拠点病院 … 広島県では、平成30(2018)年4月現在、災害拠点病院として、基幹災害拠点病院を1か所、地域災害拠点病院を17か所指定している。  
 防災道の駅 … 広域的な防災機能を担うため、ハード・ソフト対策を強化した「道の駅」として国が認定。  
 防災対策実施済延長 … 橋梁耐震化(地震による損傷が限定的なものに留まり、橋としての機能の回復が速やかに行い得るレベルの対策)及び道路法面災害防除対策(「今後の法面对策のあり方検討会」で対策が必要とされた箇所)が完了した路線延長。